



報道発表

令和2年2月12日
横浜税関

横浜税関における密輸摘発状況(令和元年)

大麻草及び大麻製品の摘発が増加

—不正薬物の摘発件数は5年連続300件超え—

1. 不正薬物

不正薬物^(*1)全体の摘発件数は379件(前年比13%減、全国の約4割)と減少。

押収量^(*2)は約95kg(前年比71%減)と減少。

国際郵便物(川崎外郵)からの摘発件数は366件であり、全国の国際郵便における不正薬物摘発件数の約7割を占める。

○近年、越境Eコマースを利用したとみられる、小口、複数事犯が多発。

(*1) 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう

(*2) 錠剤型薬物を除いたもの

2. 覚醒剤

摘発件数は31件(前年比22%減)と減少。

押収量も約58kg(前年比68%減)と減少。

3. 大麻

摘発件数は127件(前年比31%増、全国の約5割)と増加。

押収量も約31kg(前年比3倍、全国の約4割)と大幅に増加。

○非公用軍事郵便物から押収量5kgを超える大量事犯を複数摘発。

○近年、大麻樹脂等(大麻リキッド等の大麻製品を含む。)の摘発が増加。

4. 麻薬

摘発件数は125件(前年比13%減、全国の約6割)と減少。

押収量も約2kg(前年比98%減)と減少。

○近年、MDMA、LSDの摘発が増加。

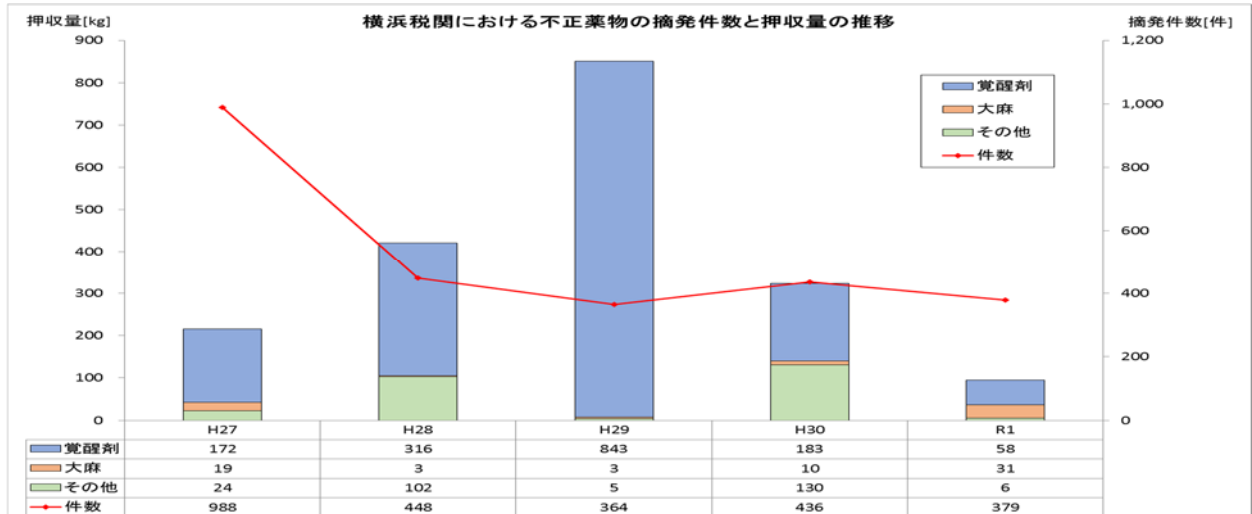
連絡・問合せ先 横浜税関 調査部
特別審理官(第1担当)
TEL045-212-6080

横浜税関における密輸摘発状況（令和元年）

1. 不正薬物

不正薬物全体の摘発件数は379件（前年比13%減）と減少しているが、5年連続で300件を超え、全国の約4割を占めており、依然として高水準である。押収量は約95kg（前年比71%減）と大幅に減少した。

薬種別では大麻（大麻草、大麻リキッド、大麻菓子等）の摘発が大幅に増加した。

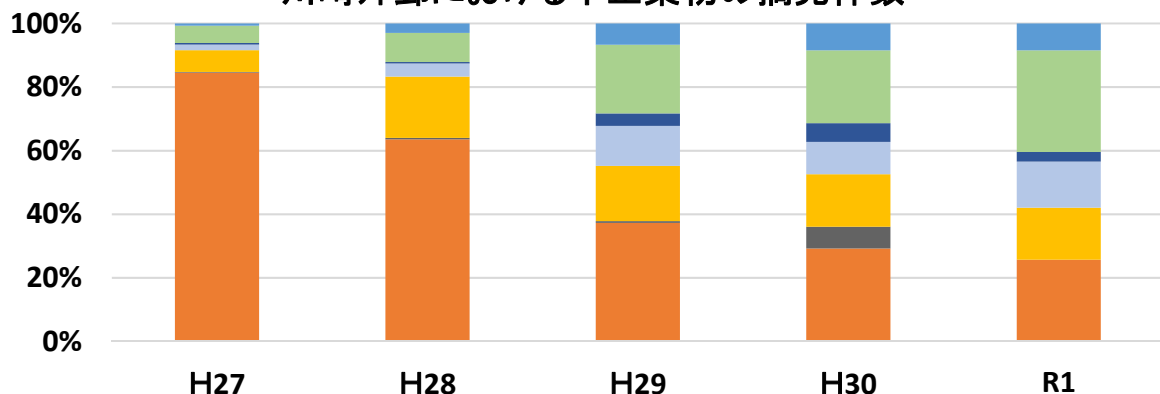


（注）その他とは、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。なお、指定薬物は平成27年4月に「輸入してはならない貨物」に追加された。令和元年の数値は速報値。

国際郵便物からの摘発

川崎外郵出張所における摘発件数は366件（前年比14%減）であり、全国の国際郵便における不正薬物摘発件数の約7割を占める。

川崎外郵における不正薬物の摘発件数



	H27	H28	H29	H30	R1
件数(構成比)	976(100.0%)	436(100.0%)	357(100.0%)	424(100.0%)	366(100.0%)
覚醒剤	7(0.7%)	13(3.0%)	24(6.7%)	36(8.5%)	31(8.5%)
大麻	53(5.4%)	40(9.2%)	77(21.6%)	97(22.9%)	117(32.0%)
コカイン	5(0.5%)	2(0.5%)	14(3.9%)	25(5.9%)	11(3.0%)
MDMA	17(1.7%)	18(4.1%)	45(12.6%)	43(10.1%)	53(14.5%)
その他麻薬	67(6.9%)	84(19.3%)	62(17.4%)	70(16.5%)	60(16.4%)
向精神薬	2(0.2%)	2(0.5%)	2(0.6%)	29(6.8%)	0(0.0%)
指定薬物	825(84.5%)	277(63.5%)	133(37.3%)	124(29.2%)	94(25.7%)

ここ数年、インターネットにより不正薬物を海外サイトに発注し、国際郵便にて発送させる、越境Eコマースを利用した手口が多発している。

SNS等の利用拡大により、不正薬物の入手方法が、インターネットによるものへと変化しており、いわゆる闇サイト等を通じて、だれでも容易に不正薬物を海外に発注できるなど、非常に深刻な状況となっている。

2. 覚醒剤

覚醒剤事犯の摘発件数は31件（前年比22%減）と減少した。

押収量も約58kg（前年比68%減）と減少した。

【事例1】国際郵便物から覚醒剤を摘発

平成31年1月から3月にかけて、カナダ及び英国から到着した国際郵便物の検査において、郵便物4通内に隠匿された覚醒剤合計約37グラムを発見・摘発した。

ルーター内に隠匿(平成31年3月摘発)



封筒内に隠匿(平成31年3月摘発 他2件)



3. 大麻

摘発件数は127件（前年比31%増、全国の約5割）と増加した。
押収量も約31kg（前年比約3倍）と大幅に増加した。

非公用軍事郵便物から押収量5kgを超える大量事犯を複数摘発した。また、大麻樹脂等（大麻リキッド等の大麻製品を含む。）の摘発が増加した。

【事例1】非公用軍事郵便物に隠匿された大量の大麻草を摘発

平成31年3月、米国から到着した非公用軍事郵便物2通を検査したところ、郵便物内に隠匿された大麻草合計約13.4キログラムを発見・摘発した。



【事例2】米国来国際郵便物に隠匿された大量の大麻草を摘発

平成31年3月、米国から到着した国際郵便物を検査したところ、郵便物に収納されていたスポーツバッグ内に隠匿された大麻草約1.5キログラムを発見・摘発した。



【事例3】カナダ来国際郵便物に隠匿された大麻を摘発

平成31年4月、カナダから到着した国際郵便物を検査したところ、郵便物内に隠匿された大麻10.66グラムを発見・摘発した。



【事例4】国際郵便物に隠匿された大麻を摘発

平成31年4月、フランス共和国から到着した国際郵便物から大麻117.96グラム、令和元年5月、英国から到着した国際郵便物から大麻49.68グラムをそれぞれ発見・摘発した。



【事例5】米国来国際郵便物に隠匿された液状大麻を摘発

平成31年3月、米国から到着した国際郵便物を検査したところ、郵便物内に隠匿された液状大麻2.13グラムを発見・摘発した。



【事例6】カナダ来国際郵便物に隠匿された大麻及び麻薬を摘発

令和元5月、カナダから到着した国際郵便物を検査したところ、郵便物内に隠匿された大麻3.58グラム及び麻薬であるLSD0.06グラムを発見・摘発した。



4. 麻薬

摘発件数は125件（前年比13%減、全国の約6割）と減少した。
押収量は約2kg（前年比98%減）と大幅に減少した。

麻薬全体の摘発は減少したが、MDMAやLSD（リゼルギン酸ジエチルアミド（別名リゼルギド））の摘発件数は増加している。

【事例1】国際郵便物に隠匿されたMDMA等を摘発

令和元年5月から8月にかけて、オランダ王国から到着した国際郵便物3通からMDMA計76.15グラム、英国から到着した国際郵便物1通からケタミン及び指定薬物である4-AcO-DMTを含有する粉状物0.24グラムをそれぞれ摘発した。



【事例2】国際郵便物に隠匿された麻薬及び大麻を摘発

平成30年12月から平成31年1月にかけて、カナダ、オランダ王国及びドイツ連邦共和国来の国際郵便物計7通から

- ・LSD 3枚(0.64グラム)
- ・MDMA 2.97グラム
- ・サイロシビン及びサイロシンを含有するきのこ類 6.87グラム
- ・大麻草 10.00グラム
- ・大麻リキッド 2.76グラム

を摘発した。



【参考】MDMA（摘発事例）



【参考】LSD（摘発事例）

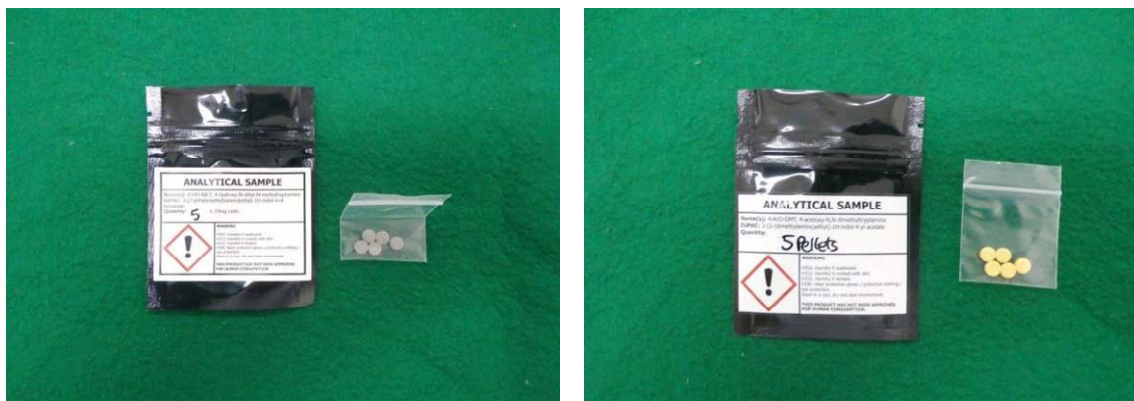


5. 指定薬物

摘発件数は96件（前年比24%減、全国の約6割）と減少した。
押収量は約3kg（前年比63%減）と大幅に減少した。

【事例1】カナダ来国際郵便物に隠匿された指定薬物を摘発

令和元年9月、カナダ来国際郵便物から4-AcO-DMTを含有する錠剤5錠及び4-OH-METを含有する錠剤5錠を摘発した。



**【事例2】 オランダ王国来国際郵便物に隠匿された
指定薬物を摘発**

令和元年9月、オランダ王国来国際郵便物から1P-LSDを
含有する紙片1枚(0.18グラム)を摘発した。



【事例3】 オーストリア共和国来国際郵便物に隠匿された指定薬物を摘発

令和元年5月、オーストリア共和国から到着した国際郵便物を検査したところ、郵便物内に隠匿された亜硝酸イソプロピル等を含有する液状物13本(143.48グラム)を発見・摘発した。



【資料1】社会悪物品の摘発実績（全国・横浜）

種類	年	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年			前年比	
		横浜		横浜		横浜		横浜		横浜		対全国比	横浜	
		件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg		対全国比	対前年比
覚醒剤	件	83	10	104	19	151	26	169	40	425	31	7%	251%	78%
	kg	422	172	1,501	316	1,159	843	1,159	183	2,570	58	2%	222%	32%
大麻	件	122	59	118	43	171	80	218	97	241	127	53%	111%	131%
	kg	34	19	9	3	131	3	156	10	78	31	40%	50%	307%
大麻草	件	58	28	81	34	115	49	128	45	110	47	43%	86%	104%
	kg	29	18	6	1	117	2	143	1	61	27	45%	43%	2075%
大麻樹脂等	件	64	31	37	9	56	31	90	52	131	80	61%	146%	154%
	kg	6	1	3	2	13	1	13	9	17	4	21%	131%	41%
あへん	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻薬	件	213	90	182	106	170	121	225	143	209	125	60%	93%	87%
	kg	26	1	121	95	82	1	161	121	656	2	0%	408%	2%
	千錠	1	0	1	1	2	2	32	20	61	1	1%	189%	4%
ヘロイン	件	2	-	6	6	6	3	8	7	5	2	40%	63%	29%
	kg	2	-	0	0	70	0	1	0	17	0	0%	24倍	100%
コカイン	件	8	5	12	4	24	14	58	27	52	11	21%	90%	41%
	kg	18	0	119	95	10	1	153	116	638	2	0%	417%	2%
MDMA等	件	23	17	27	18	48	45	59	44	67	53	79%	114%	120%
	kg	0	0	1	0	0	0	5	5	0	0	64%	7%	5%
	千錠	0	0	1	1	2	2	32	20	61	1	1%	191%	4%
ケタミン	件	12	-	20	3	18	7	17	8	26	11	42%	153%	138%
	kg	4	-	1	0	0	0	1	0	0	0	11%	11%	54%
その他麻薬	件	168	68	117	75	74	52	83	57	59	48	81%	71%	84%
	kg	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	54%	25%	26%
	千錠	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	22%	58%	40%
向精神薬	件	16	3	11	3	17	2	38	30	6	-	-	16%	全減
	kg	0	0	-	-	0	-	0	-	-	-	-	全減	-
	千錠	7	4	2	2	4	0	26	18	0	-	-	1%	全減
指定薬物	件	1,462	826	477	277	275	135	221	126	165	96	58%	75%	76%
	kg	40	23	19	7	8	3	17	9	15	3	22%	85%	37%
合計	件	1,896	988	892	448	784	364	871	436	1,046	379	36%	120%	87%
	kg	522	215	1,650	421	1,380	851	1,493	323	3,318	95	3%	222%	29%
	千錠	8	4	3	2	6	2	58	38	61	1	1%	106%	2%
(参考)使用回数	万回	1,499	-	5,405	-	4,638	-	4,427	-	10,896	-	-	246%	-

銃 砲	件	5	1	4	1	7	1	8	2	-	-	-	全減	全減
	丁	5	1	4	1	19	2	10	3	-	-	-	全減	全減
うち拳銃	件	5	1	4	1	6	1	7	1	-	-	-	全減	全減
	丁	5	1	4	1	18	2	9	2	-	-	-	全減	全減
拳銃部品	件	-	-	-	-	3	2	1	-	-	-	-	全減	-
	点	-	-	-	-	4	3	1	-	-	-	-	全減	-

- (注) 1.令和元年は、平成31年1月から令和元年12月を示す。以下同じ。
 2.税関が摘発した密輸入事犯のほか、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
 3.覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計を示す。
 4.大麻樹脂等は、大麻樹脂のほか、大麻キッド・大麻菓子等の大麻製品の合計を示す。
 5.MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。
 6.(参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。
 (覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、あへん:0.3g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、MDMA等及び向精神薬:1錠)
 7.端数処理のため数値が合わないことがある。
 8.数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
 9.指定薬物については、平成27年4月以降の実績を計上。
 10.令和元年の数値は速報値である。

【資料2】不正薬物の密輸形態別摘発件数（全国・横浜）

（件）

形態別	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		
		横浜		横浜		横浜		横浜		横浜	前年比
航空機旅客等による密輸	107	1	176	1	214	1	243	3	388	1	33%
国際郵便物を利用した密輸	1734	981	640	437	526	359	557	426	520	375	88%
商業貨物等を利用した密輸	45	3	60	9	36	3	58	6	127	3	50%
航空貨物等	34	0	49	0	32	0	46	0	121	0	-
海上貨物等	11	3	11	9	4	3	12	6	6	3	50%
船員等による密輸	10	3	16	1	8	1	13	1	11	0	全減
合 計	1896	988	892	448	784	364	871	436	1046	379	87%

（注）航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、洋上取引、船舶旅客を含む。また、商業貨物等には、別送品を含む。

【資料3】不正薬物の仕出国別摘発件数（横浜）

仕出国等	オランダ	米国	中国	英国	カナダ	フランス	ドイツ	スペイン	スロベニア	ナイジェリア	その他	合計
摘発件数（件）	113件	90件	40件	34件	30件	14件	12件	8件	8件	8件	22件	379件
（うち国際郵便物）	(113件)	(87件)	(40件)	(34件)	(30件)	(14件)	(12件)	(8件)	(8件)	(8件)	(21件)	(375件)
構成比（%）	29.8%	23.7%	10.6%	9.0%	7.9%	3.7%	3.2%	2.1%	2.1%	2.1%	5.8%	100.0%